

平成27年度病害虫発生予報第1号(4月予報)

<今月のコラム> ・カンシャコバナナガカメムシの防除適期と要防除水準
・4月に発生が予想される病害虫について
・梅雨の時期が近づいています

<お知らせ> イネヨトウの性フェロモントラップにおける誘殺数の推移について以下URLに掲載しています。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/documents/ineyo-phero.html>

今月のトピックス

カンシャコバナナガカメムシ(さとうきび)
方言名: ガイダー、チンチバク
学名: *Cavelerius saccharivorus*



集団で加害する1、2齢幼虫



短翅型(左)と長翅型(右)成虫



吸汁痕



1齢幼虫を捕食するエサキトゲアシハナカメシ



カンシャコバネカメシタマゴバチ



成虫を集団で運ぶ
ツヤオスアリ

生態と被害

本種は、幼虫、成虫とも葉鞘や鞘頭部に潜み集団で吸汁加害する。被害を受けた葉は黄変し、ひどい場合は枯死する。成虫には飛翔できる長翅型と、飛翔できない短翅型がいる。移動性の高い長翅型は高温もしくは高密度条件で出現する。概ね4～6月に第1世代、7～8月に第2世代、9～10月に第3世代が発生する。天敵には卵に寄生するカンシャコバナカメシタマゴバチやエサキトゲアシハナカメシ、アリ類、クモ類などがある。

防除は虫密度が1茎あたり20頭を基準として、超えている場合は直ちに薬剤散布を行い、下回っている場合は天敵を温存するためなるべく散布を控えるのが望ましい。1回目の株出、および前年夏植は被害を受けやすいため、特に注意する必要がある。防除適期は4月中旬から5月上旬(本号コラム参照)。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/index.html>

平成27年3月23日
沖縄県病害虫防除技術センター